

オームソースシリーズ

電子制御の抵抗ボックス
抵抗値の源泉

マイクロプロセッサ制御のオームソース抵抗ボックスはこれまでにない製品です。画期的な機能を備え、直観的でユーザーフレンドリーな操作で高精度、高精密の抵抗値を利用できます。抵抗値は24M Ω まで、パワー定格は1Wまで利用できるハンドヘルドのオームソース抵抗ボックスは自動車産業、医療、テスト・測定、テレコム、HVAC等々の全ての産業で使用できます。

自動RTDシミュレーション

変換テーブルのアドオン機能によりユーザーはオームソース抵抗ボックスにデータテーブルをダウンロードすることができるので、ユーザーが定義できる既知の物理的特性を抵抗値に変換できます。

特色及び利点

- キーパッドインターフェイス
電卓スタイルのキーパッドから抵抗値を入力
- クイックバリューキー
ワンタッチで頻繁に使用される4つまでの抵抗値を呼び出せる
- メモリーキー
10 (0-9) までの抵抗値を別途記憶できます
- 電流制限 (ユーザー設定)
損傷を防ぐためにオームソースに流れる電流を制限できます
- 抵抗値増分設定
ユーザー定義の抵抗値増分あるいは標準の抵抗値増分(1%, 5%, 10%)を設定できます
- オープンキー
オームソースをアプリケーションからキータッチで100%機械的に分離することができます
- 読みやすいディスプレイ
グラフィックの大きなLCDディスプレイで出力の抵抗値 () を容易に読む事ができます
- 自動残留抵抗値
オームソースの残留抵抗は出力抵抗値に自動的に含まれるので、ゼロサブトラクションは必要ありません
- 自動電源オフ
オームソースの休眠状態が4分間続いた場合は、電源をセーブする為に電源は自動的にオフになります。
- 現場での校正
オームソースは精密オームメータを使用して容易に校正する事ができます。年に1回工場での校正を推奨します。
- フラッシュプログラムメモリー
マイクロプロセッサはフラッシュメモリーを備えているのでファームウェアを再プログラムする事ができます。
- アクセサリー
OS-91.001 ソフトウェア開発キット
- 高度なカスタマイズ用ソフトウェアおよびハードウェアツール
OS-91.002 テスト用リード線
・デュアルバナナプラグ-ミニワニグチクリップ



RTD values may be stored and recalled by temperature setting

このオプションを利用すると、サーミスタや導電センサー等の物理的現象を抵抗値に変換するどんなトランスデューサーのシミュレーションも可能です。各テーブルは256までの等値値を収めることができます。

RS232インターフェイスとソフトウェア開発キットを使用すればオームソース抵抗ボックスを遠隔のコンピュータからコントロールでき、カスタムデザインの自動テスト計器が設計できます。

仕 様

| | Model OS-250 | Model OS-260 | Model OS-270 |
|------------------|--|--|---|
| 範囲 | Rmin* to 24,000,000 Ω | Rmin* to 24,000,000.0 Ω | Rmin* to 1,500,000.00 Ω |
| 分解能 | 1 Ω | 0.1 Ω | .01 Ω |
| 精度 ゼロサブストラクション不要 | $\pm 1 \Omega$, for 1 k Ω and under $\pm 0.1\%$, for over 1 k Ω | $\pm 0.5 \Omega$, for 1 k Ω and under $\pm 0.1\%$, for over 1 k Ω | $\pm 0.1 \Omega$, for 5 k Ω and under $\pm 0.01\%$, for over 5 k Ω |
| パワー定格 | 1.0 W | 1.0 W | 1.0 W |
| 電源 | 4 AA alkaline batteries | 4 AA alkaline batteries | 4 AA alkaline batteries |

Rmin*: Minimum settable resistance, determined at calibration, approximately 1 Ω .

